

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
Kawauchi Y, Suzuki K, Hanawa T, Yoneyama H, Maruyama H, Han GD, Kawachi H, Shimizu F, Miyazaki J, Asakura H, Aoyagi Y	Treatment of acute colitis of mice by hepatocyte growth factor gene transfer to the liver via tail vein.	DDW 2004	New Orleans, LA	2004年5月17日
Suzuki K, Kawauchi Y, Baba Y, Yoneyama H, Han GD, Kawachi H, Narumi S, Shimizu F, Asakura H, Aoyagi Y	DDW 2004, Amelioration of acute colitis of mice by enema of anti-interferon-inducible-protein 10 (IP-10)	DDW 2004	New Orleans, LA	2004年5月17日
河内裕介、鈴木健司、埜孝泰、韓基東、河内裕、清水不二雄、青柳豊	マウスDSS腸炎に対するHGF遺伝子治療の検討.	第41回日本消化器免疫学会	大津	2004年7月15日
鈴木健司、河内裕介、青柳豊	炎症性腸疾患の粘膜再生に基づく新規治療法としてのHGF遺伝子治療法の開発.	DDW-Japan 2004	福岡	2004年10月21日
鈴木健司、河内裕介、青柳豊	HGF遺伝子導入による炎症性腸疾患に対する粘膜再生療法の開発.	第91回日本消化器病学会	東京	2005年4月14日
Kawauchi Y, Suzuki K, Hanawa T, Yoneyama H, Maruyama H, Han GD, Kawachi H, Shimizu F, Miyazaki J, Asakura H, Aoyagi Y	The effect of local administration of HGF naked DNA by enema on DSS-induced acute colitis.	DDW 2005	Chicago	2005年5月15日
Suzuki K, Kawauchi Y, Hanawa T, Yoneyama H, Hiroki M, Han GD, Kawachi H, Shimizu F, Miyazaki J, Asakura H, Aoyagi Y	Treatment of acute colitis of mice by repeated hepatocyte growth factor gene transfer to the liver via tail vein.	DDW 2005	Chicago	2005年5月15日
河内裕介、鈴木健司、埜孝泰、韓基東、河内裕、清水不二雄、青柳豊	マウスDSS腸炎に対するHGF遺伝子治療の検討.	第42回日本消化器免疫学会	東京	2005年8月4日
Kiyoshi Takeda	Role of TIR domain-containing adaptors in Toll-like receptor signaling pathways.	International Workshop on The Immune System; Development, Activation, and Manipulation	Tokyo	2004年2月16-17日
Kiyoshi Takeda	Regulation of chronic intestinal inflammation by innate immune cells	13th International Symposium on Molecular Cell Biology of Macrophages	Osaka	2004年7月2日
竹田潔	Toll-like receptorによる自然免疫応答の制御,	第2回九州大学生体防御医学研究所・東京大学医学科学研究所, 「感染・免疫・ゲノム」合同シンポジウム,	東京	2004年7月6日
Kiyoshi Takeda	Innate immune recognition by Toll-like receptors (Organizer)	Surface Barrier Immunology Study Group (SBARIS) 1st Meeting 「Innate Immunity at Mucosal Surface」	Tokyo	2004年7月9-10日
山本雅裕、竹田潔、審良静男,	Toll-like receptorを介した細胞内シグナル伝達機構と遺伝子発現制御,	第25回日本炎症・再生医学学会,	東京	2004年7月13日
Kiyoshi Takeda	Regulation of innate immune responses by Toll-like receptors (Invited)	The 3 rd Awaji International Forum on Infection and Immunity	Awaji, Hyogo	2004年8月29日-9月2日
Kiyoshi Takeda	Toll-like receptors for mucosal immunity (Invited)	KOSEF-JSPS Asian Science Seminar	Seoul, Korea	2004年10月24-27日
竹田潔	Toll-like receptorによる自然免疫系の活性化機構	第17回日本バイオセラピー学会学術集会総会	北九州	2004年11月25日
Kiyoshi Takeda	Evolution and integration of innate immune recognition systems: The Toll-like receptors (Symposium:Invited)	The 8 th conference of the International Endotoxin Society	Kyoto	2004年11月15日-18日

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
竹田潔	遺伝子改変による免疫系シグナル伝達機構の解析	第34回日本免疫学会学術集会	札幌	2004年12月1日-3日
Kiyoshi Takeda	Involvement of Toll-like receptor-mediated activation of innate immunity in mycobacterial infection.	40th anniversary of Japan-US, Program for Tuberculosis and Leprosy panel,	Kyoto	2004年12月9日
竹田潔	Toll-like receptors and pathogen recognition (Symposium:Invited)	第78回日本細菌学会総会	東京	2005年4月4日-6日
竹田潔	Toll-like receptorと結核感染(シンポジウム)	第80回日本結核病学会、	埼玉	2005年5月12-13日
Kiyoshi Takeda	The roles of STATs in inflammatory responses: Lessons from the knockout mouse. (symposium, invited),	American Thoracic Society 2005,	USASan Diego	2005年5月20-25日
竹田潔	自然免疫シグナルの制御機構(ワークショップ,招待講演)	第5回日本蛋白質科学会年会	福岡	2005年7月1日
竹田潔	Toll-like receptorを介した自然免疫系の制御	第45回日本リンパ網内系学会総会	福岡	2005年7月14日-15日
Kiyoshi Takeda, Makoto Matsumoto	Toll-like receptor-dependent innate immune responses in mycobacterial infection. US-Japan cooperative medical science program.	40th Tuberculosis and Leprosy Research Conference	Seattle, USA	2005年7月28-30日
竹田潔	自然免疫系と炎症性腸疾患(ワークショップ,招待講演)	第42回日本消化器免疫学会総会	東京	2005年8月4日-5日
Kiyoshi Takeda	Regulation of Toll-like receptor-mediated gene expression by nuclear IκB proteins.	The 6th EMBL Mouse Molecular Genetics Meeting	Heidelberg, Germany	2005年9月28日-10月2日
Kiyoshi Takeda	Regulation of innate immune responses against intracellular pathogen infection (Symposium)	第35回日本免疫学会学術集会	横浜	2005年12月13-15日
桑田啓貴、竹田潔	Regulation of Toll-like receptor dependent gene induction by nuclear IκB protein IκBNS.	第35回日本免疫学会学術集会、	横浜	2005年12月13-15日
古賀律子、濱野真二郎、松本真琴、久枝一、審良静男、姫野國介、竹田潔	Involvement of Toll-like receptor-dependent activation of innate immunity in Trypanosoma cruzi infection.	第35回日本免疫学会学術集会、	横浜	2005年12月13-15日
松本真琴、桑田啓貴、山本雅裕、審良静男、吉開泰信、竹田潔	The role of Toll-like receptor signaling in mycobacterial infection.	第35回日本免疫学会学術集会、	横浜	2005年12月13-15日

VI. 研究成果による特許権等の知的財産権の
出願・登録状況

VII. 社会活動報告

社会活動報告

活動者名 (所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および 新聞名等	活動年月日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	炎症性腸疾患治療法 (ラジオ出演)	日経ラジオ社	2004年3月10日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	何故、今、腸の病気が注目されているのでしょうか? (ラジオ出演)	文化放送	2004年3月11日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	何故、今、腸の病気が注目されているのでしょうか? (ラジオ出演)	文化放送	2004年5月23日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	炎症性腸疾患Update (平成17年度 日本内科学会生涯教育講演会Aセッション)	大阪国際会議場	2005年2月13日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	日経ラジオ社「ドクターサロン」 炎症性腸疾患患者の服薬指導	日経ラジオ社	2005年5月4日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	日経ラジオ社「特別医学講座」 潰瘍性大腸炎の治療の進歩 (日比紀文教授との対談)	日経ラジオ社	2005年5月8日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	平成17年度 日本内科学会生涯教育講演会Aセッション (第2回) 炎症性腸疾患Update	東京国際フォーラム	2005年5月22日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	第7回 日本消化器病学会関東支部教育講演会 炎症性腸疾患の内科的治療update	都市センターホテル	2005年6月4日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	第49回 社会保険指導者講習会 わかりやすい免疫疾患: 自己免疫性消化器疾患	日本医師会大講堂	2005年8月25日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	第23回日本ヒト細胞学会大会 市民公開シンポジウム 消化器再生: 分泌型上皮細胞への分化抑制	エポカルつくば (つくば国際会議場)	2005年8月27日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	平成17年度 日本内科学会生涯教育講演会Aセッション (第3回) 炎症性腸疾患Update	札幌コンベンションセンター	2005年9月4日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	第19回 東京医科歯科大学医師会講演会 第二の脳「腸」を守る	東京医科歯科大学歯学部特別講堂	2005年12月10日
渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)	財団法人難病医学研究財団 市民公開シンポジウム「炎症性腸疾患の理解と克服」 潰瘍性大腸炎・Crohn病の病態・疫学	よみうりホール	2006年2月19日
日比紀文 (慶應義塾大学医学部消化器内科)	財団法人難病医学研究財団 市民公開シンポジウム「炎症性腸疾患の理解と克服」	よみうりホール	2006年2月19日
綾部時芳、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	バイオ新時代 大腸難病に新薬研究 旭川医大 小腸の殺菌作用に着目	北海道新聞 第一経済面記事	2003年4月18日
蘆田知史、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	第13回腸寿会総会(患者会) 炎症性腸疾患の新しい治療法	旭川医科大学大講義室	2003年8月30日
高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	旭川市長寿大学 (派遣講座) 胃腸の病気の診断と治療について	旭川市北星公民館	2003年11月25日
綾部時芳、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	平成15年度産学官技術移転フォーラム パネート細胞による腸内細菌の認識・殺菌	ホテルロイトン札幌	2003年10月8日
蘆田知史、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	第14回腸寿会総会講演会 (炎症性腸疾患患者会) - 炎症性腸疾患の治療 -	旭川医科大学大講義室	2004年9月10日

綾部時芳、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	第14回腸寿会総会講演会 (炎症性腸疾患患者会) - 炎症性腸疾患はどこまでわかったか -	旭川医科大学大 講義室	2004年9月10日
綾部時芳、蘆田知史、河野 透、 高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	新エネルギー・産業技術総合開発機構平成16年度 研究助成事業成果報告会 - ヒト小腸バイオリア クターを用いた内因性抗菌物質の量産技術の開発 と感染症治療への応用 -	東京国際フォー ラム	2005年1月18日
綾部時芳、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	第16回日本生体防御学会学術集会ランションセミ ナー	国立感染症研究 所	2005年8月6日
蘆田知史、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	第15回腸寿会総会講演会 (炎症性腸疾患患者会) - 炎症性腸疾患の新しい治療 -	層雲閣グランド ホテル	2005年8月27日
綾部時芳、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)	旭川市緑が丘中学校総合的学習 - 「再生医療」	旭川医科大学実 験実習機器セン ター	2005年10月12日
中村和彦 (九州大学)	難病講習会 潰瘍性大腸炎とクローン病について	福岡市南区保健 福祉センター	2004年2月17日

VIII. 研究事業報告

厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究」
平成 17 年度第 1 回総会プログラム

(敬称略)

開会 (13 : 00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 班長：渡辺 守

II. 研究報告

◎ 上皮細胞の再生・修復のための分子療法の確立 (13 : 10～14 : 10)

1) 腸管上皮分化の分子機構を利用した上皮再生治療の可能性 (分担研究者：渡辺 守)

○岡本隆一、新垣美郁代、村山巖一、吉岡篤史、大島 茂、土屋輝一郎、渡辺 守

(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

2) 炎症性腸疾患発症進展における自然免疫系とくに内因性抗菌ペプチドの役割と

その賦活化による治療 (分担研究者：高後 裕)

○綾部時芳¹⁾、蘆田知史²⁾、森山雅美³⁾、前本篤男¹⁾、田邊裕貴²⁾、高後 裕²⁾

(¹⁾ 旭川医科大学消化管再生修復医学、²⁾ 旭川医科大学第三内科、³⁾ 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学)

3) HGF および HGF 遺伝子大腸粘膜下注入療法の開発 (分担研究者：鈴木健司)

○鈴木健司、河内裕介、朝倉 均、青柳 豊 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)

4) 組換えヒト HGF の非臨床試験と臨床応用への問題点 (分担研究者：坪内博仁)

坪内博仁¹⁾、○井戸章雄²⁾、沼田政嗣³⁾、中西千尋³⁾、児玉真由美³⁾、宇都浩文³⁾

(¹⁾ 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学、²⁾ 京都大学病院探索医療センター、³⁾ 宮崎大学第二内科)

◎ 腸管特異的免疫調節を応用した治療法の開発 (14 : 10～14 : 40)

5) 自然免疫系による炎症性腸疾患の制御機構の解析 (分担研究者：竹田 潔)

○竹田 潔 (九州大学生体防御医学研究所発生工学分野)

6) MIF (macrophage migration inhibitory factor) の制御による炎症性腸疾患の

新しい治療法の開発 (分担研究者：浅香正博)

○武田宏司、大川原辰也、浅香正博 (北海道大学大学院医学研究科消化器内科学)

◎ 選択的細胞除去・移入療法の開発 (14:40~15:10)

- 7) 細胞治療としての炎症性腸疾患における免疫抑制性T細胞移入療法—第3報—
(分担研究者: 渡辺 守)

○金井隆典、河村貴広、根本泰宏、伊藤ゆみ、蒔田 新、戸塚輝治、渡辺 守
(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

- 8) 潰瘍性大腸炎に対する白血球除去・制御性T細胞移入療法の開発 (分担研究者: 中村和彦)

○中村和彦、隅田頼信、金山兼司、本田邦臣、水谷孝弘、吉永繁高、樋口奈緒美、
板場壮一、秋穂裕唯 (九州大学大学院病態制御内科学)

◎ 分子デリバリーシステムを用いた治療法確立 (15:10~15:25)

- 9) 潰瘍性大腸炎患者におけるデキサメサゾン含有ポリ乳酸マイクロカプセルの有効性に
関する臨床研究 (分担研究者: 岡崎和一)

○岡崎和一¹⁾、松下光伸¹⁾、内田一茂¹⁾、川股聖二¹⁾、安藤佑吾¹⁾、廣田育彦²⁾、仲瀬裕志³⁾、
西尾彰功³⁾、千葉 勉³⁾ (¹⁾ 関西医科大学消化器内科、²⁾ 関西医科大学薬剤部、³⁾ 京都大学消化器内科)

◎ 新しいコンセプトによる治療法開発 (15:25~15:40)

- 10) Crohn病における核内受容体LXRの発現と機能解析, 治療標的としての検討
(分担研究者: 日比紀文)

○佐藤俊朗¹⁾、仲居隆明¹⁾、日比紀文¹⁾、杉田 昭²⁾、福島恒男³⁾、槇島 誠⁴⁾
(¹⁾ 慶應義塾大学医学部消化器内科、²⁾ 横浜市民病院外科、³⁾ 横浜市民病院脳血管医療センター、
⁴⁾ 日本大学医学部生化学)

事務局連絡

閉会の挨拶

(16:00 終了予定)

平成 17 年度第 1 回総会出席者名簿

平成 17 年 7 月 6 日 (水)

参加者 81 名 (敬称略)

班 長
分担研究者

渡辺 守 (東京医科歯科大学大学院消化器病態学)
日比紀文 (慶應義塾大学医学部消化器内科)
坪内博仁 (鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学)
高後 裕 (旭川医科大学第 3 内科)
岡崎和一 (関西医科大学内科学第三講座 (消化器肝臓内科))
中村和彦 (九州大学大学院病態制御内科)
鈴木健司 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)
竹田 潔 (九州大学生体防御医学研究所発生工学分野)

参加協力者

岩男 泰、井上 詠、緒方晴彦、鎌田信彦、小林 拓、長谷川 彰、佐藤俊郎、仲居貴明
(慶應大学医学部消化器内科)
杉田 昭 (横浜市立市民病院外科)
武田宏司 (北海道大学第三内科)
高木智久 (京都府立医大生体安全医学講座)
井戸章雄 (京都大学医学部附属病院探索医療センター)
沼田政嗣 (宮崎大学医学部第 2 内科)
綾部時芳、蘆田知史、前本篤男 (旭川医科大学消化管再生修復医学)
安藤裕吾、松下光伸 (関西医科大学第三内科)
西尾彰功 (京都大学消化器内科)
金山兼司、秋穂裕唯、隅田頼信 (九州大学病態制御内科)
河内裕介 (新潟大学第三内科)
有村佳昭 (札幌医科大学第一内科)
田中浩紀 (札幌厚生病院第 1 消化器科)
渡辺和宏 (東北大学大学院生体調節外科学)
水島恒和 (市立泉佐野病院外科)
茂木健太、鮫島伸一 (群馬県立がんセンター消化器外科大腸グループ)
鈴木康夫 (東邦大学佐倉病院内科)
味村俊樹 (帝京大学医学部外科)
土肥多恵子 (国立国際医療センター研究所)
飯塚文瑛 (東京女子医大消化器内科)
渡辺聡明 (東京大学大腸・肛門外科)
大塚和朗 (昭和大学横浜市北部病院消化器センター)
古賀秀樹、垂水研一 (川崎医科大学消化器内科)
清水香代子 (川崎医科大学食道胃腸内科)
北洞哲治 (国際医療福祉大学)
宮田充樹 (愛知医科大学消化器内科)
高本智久 (京都府立大医科大学生体安全医学講座)
渡辺憲治 (大阪市立大学第三内科)
長谷川順一、伊藤壽記、松田 宙 (大阪大学生体機能補完医学)
松本誉之、福田能啓、高川哲也 (兵庫医科大学下部消化管科)
牧山和也 (長崎大学光学医療診療部)
藤田 浩、鮫島朝之 (鹿児島大学消化器疾患)
知念 寛 (琉球大学第一内科)
岩元俊朗 (アステラス製薬株)
植村真理、石田美紀、上山直樹、楠 敦、長村健次、山崎康昭、星野信男 (大塚製薬株)
辻井勝哉 (田辺製薬株)
丸田展久、菅原慎一郎 (日清キョーリン製薬)
細井栄治 (日本抗体研究所)
鈴木貴幸 (ユーシービージャパン)
岡本隆一、大島 茂、鬼澤道夫、戸塚輝治 (東京医科歯科大学消化器病態学)

事 務 局

山崎元美、辻 泰子、伊藤裕子 (東京医科歯科大学消化器病態学)

厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究」
平成17年度第2回総会プログラム

(敬称略)

開会 (14:00)

I. 厚生労働省健康局疾病対策課御挨拶 牧野友彦先生

II. 主任研究者挨拶・研究の進め方 班長：渡辺 守

III. 研究報告

◎ 上皮細胞の再生・修復のための分子療法の確立 (14:20~15:20)

1) 腸管上皮の分化制御シグナルの解明と腸管粘膜修復治療への応用 (分担研究者：渡辺 守)

○岡本隆一、土屋輝一郎、大島 茂、新垣美郁代、吉岡篤史、村山巖一、金井隆典、渡辺 守
(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

2) 自然免疫制御による炎症性腸疾患の治療法開発 (分担研究者：高後 裕)

○綾部時芳¹⁾、前本篤男^{1,2)}、田邊裕貴²⁾、蘆田知史²⁾、高後 裕¹⁾
(¹⁾ 旭川医科大学消化管再生修復医学、²⁾ 旭川医科大学第三内科)

3) HGF および HGF 遺伝子大腸粘膜下注入療法の開発 (分担研究者：鈴木健司)

○鈴木健司、河内裕介、朝倉 均、青柳 豊 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学)

4) 炎症性腸疾患に対する組換えヒト HGF の臨床応用 (分担研究者：坪内博仁)

坪内博仁¹⁾、○井戸章雄²⁾、沼田政嗣³⁾、児玉眞由美³⁾、宇都浩文³⁾、森内昭博²⁾

(¹⁾ 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学、²⁾ 京都大学病院探索医療センター、³⁾ 宮崎大学第二内科)

◎ 腸管特異的免疫調節を応用した治療法の開発 (15:20~15:50)

5) 自然免疫系の制御と炎症性腸疾患 (分担研究者：竹田 潔)

○竹田 潔 (九州大学生体防御医学研究所発生工学)

6) MIF (macrophage migration inhibitory factor) の制御による炎症性腸疾患の
新しい治療法の開発 (分担研究者：浅香正博)

○大川原辰也、武田宏司、浅香正博 (北海道大学大学院医学研究科消化器内科学)

◎ 選択的細胞除去・移入療法の開発 (15:50~16:20)

- 7) 細胞治療としての炎症性腸疾患における免疫抑制性T細胞移入療法の実現化に向けて
(分担研究者: 渡辺 守)

○金井隆典、蒔田 新、根本泰宏、伊藤ゆみ、鬼澤道夫、戸塚輝治、渡辺 守
(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

- 8) 潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去・制御性T細胞移入療法の開発: 臨床応用可能な
制御性T細胞分離法に関して (分担研究者: 中村和彦)

○中村和彦、隅田頼信、金山兼司、本田邦臣、水谷孝弘、秋徳裕唯、樋口奈緒美、吉永繁高、
板場士一、高柳涼一 (九州大学大学院病態制御内科学)

◎ 分子デリバリーシステムを用いた治療法確立 (16:20~16:35)

- 9) 潰瘍性大腸炎患者におけるデキサメサゾン含有ポリ乳酸マイクロカプセルの有効性に
関する臨床研究 (分担研究者: 岡崎和一)

○岡崎和一¹⁾、松下光伸¹⁾、内田一茂¹⁾、川股聖二¹⁾、安藤佑吾¹⁾、廣田育彦²⁾、仲瀬裕志³⁾、
西尾彰功³⁾、千葉 勉³⁾ (¹⁾ 関西医科大学消化器内科、²⁾ 関西医科大学薬剤部、³⁾ 京都大学消化器内科)

◎ 新しいコンセプトによる治療法開発 (16:35~16:50)

- 10) 遠位型潰瘍性大腸炎に対するレバミピド注腸療法の検討 -無作為抽出法による
Pilot studyの成績より (分担研究者: 日比紀文)

桜庭 篤、矢島知治、中澤 敦、久松理一、岡本 晋、井上 詠、○緒方晴彦、
岩男 泰、日比紀文 (慶應義塾大学医学部消化器内科)

事務局連絡

閉会の挨拶

(17:00 終了予定)

平成17年度第2回総会出席者名簿

平成18年2月15日(水)
参加者57名(敬称略)

班 長 分担研究者

渡辺 守(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)
坪内博仁(鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学)
高後 裕(旭川医科大学第3内科)
岡崎和一(関西医科大学第3内科)
中村和彦(九州大学大学院病態制御内科)
鈴木健司(新潟大学消化器内科)
竹田 潔(九州大学生体防御医学研究所発生工学分野)

参加協力者

井上 詠、緒方晴彦、鎌田信彦(慶應義塾大学消化器内科)
武田宏司(北海道大学医学部第3内科)
井戸章雄(京都大学医学部附属病院探索医療センター)
沼田政嗣(宮崎大学医学部第2内科)
児玉真由美(宮崎大学医学部第2内科)
綾部時芳、前本篤男(旭川医科大学消化管再生修復医学)
内田一茂(関西医科大学第3内科)
隈田頼信、金山兼司(九州大学第3内科)
大川原辰也(北海道大学第3内科)
河内裕介(新潟大学消化器内科)
田中浩紀(札幌厚生病院第1消化器科)
高山哲治(札幌医科大学第4内科)
千葉俊美(岩手医科大学第一内科)
土肥多恵子(国立国際医療センター研究所)
工藤進英(昭和大学横浜市北部病院消化器センター)
小島 徹(東京大学医学部外科)
宮田充樹(愛知医科大学消化器内科)
森田英次郎(大阪医科大学第2内科)
伊藤壽記(大阪大学生体機能補完医学)
高川哲也、應田義雄(兵庫医科大学下部消化管科)
人見麻子(旭化成メディカル)
小柳勝義(アステラス製薬)
星野信男、神田徳雄、小路利治、チュアエバン(大塚製薬)
細井栄治、笠原貴志(JIMRO)
岡本正人、辻井勝哉(田辺製薬)
中丸幸一、藤井克典、池淵 悟、川村織恵(日清キョーリン製薬)
酒巻善春(ユーシービージャパン)
牧野友彦(厚生労働省疾病対策課)
金井隆典、戸塚輝治、岡本隆一、蒔田 新、野崎賢吾、富田貴之
(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

事 務 局

山崎元美、辻 泰子、伊藤裕子(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究」
平成16年度第1回総会プログラム

(敬称略)

開会 (13:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 班長：渡辺 守

II. 研究報告

(1) 上皮細胞の再生・修復のための分子療法の確立 (13:10~14:05)

- ・ 遺伝子組み換え型ヒト HGF を用いた TNBS 大腸炎に対する粘膜修復治療

(分担研究者：坪内博仁)

坪内博仁、○沼田政嗣、井戸章雄、安部弘生、宇都浩文

(宮崎大学第2内科、京都大学探索医療センター)

- ・ 炎症性腸疾患に対する HGF 遺伝子治療の検討 (分担研究者：鈴木健司)

○鈴木健司、河内裕介、朝倉 均、青柳 豊 (新潟大学大学院医歯学系消化器内科学分野)

- ・ 炎症性腸疾患にみられる腸上皮の再生・分化異常と腸上皮幹細胞の検討

(分担研究者：高後 裕)

○綾部時芳、蘆田知史、高後 裕 (旭川医科大学第3内科)

- ・ 腸管上皮細胞の分化制御による新規治療法開発への試み (分担研究者：渡辺 守)

○岡本隆一、松本智子、川村央信、土屋輝一郎、中村哲也、金井隆典、渡辺 守

(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

(2) 腸管特異的免疫調節を応用した治療法の開発 (14:05~14:55)

- ・ MIF の制御による炎症性腸疾患の新しい治療法の開発 (分担研究者：浅香正博)

○大川原辰也、武田宏司、浅香正博 (北海道大学大学院消化器内科学分野)

- ・ マウス DSS 腸炎発症における $\gamma\delta$ -IEL の役割 (分担研究者：石川博通)

○石川博通 (慶應義塾大学微生物学・免疫学)

- ・ リンパ球ホーミング作動薬 FTY720 によるクローン病緩解維持療法に対する臨床応用

○伊藤壽記、水島桓和、玉川浩司、甲斐康之、根津理一郎 (大阪大学大学院臓器制御外科)

- ・ 自然免疫系からみた炎症性腸疾患の病態解析 (分担研究者：竹田 潔)

○竹田 潔 (九州大学生体防御医学研究所発生工学分野) (※紙上発表)

(3) 選択的細胞除去・移入療法の開発 (14:55~15:30)

- ・炎症性腸疾患における制御性T細胞：疾患におけるその割合の変動とヒト末梢血よりの分離法、機能に関する検討 (分担研究者：中村和彦)

○中村和彦、高橋 誠、水谷孝弘、本田邦臣、松井謙明、吉永繁高、秋穂裕唯、名和田 新
(九州大学大学院・病態制御内科学)

- ・細胞治療としての炎症性腸疾患における免疫抑制性T細胞移入療法実現に向かって
(分担研究者：渡辺 守)

○金井隆典、河村貴広、蒔田 新、浦牛原幸治、戸塚輝治、渡辺 守
(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

(4) 分子デリバリーシステムを用いた治療法確立 (15:30~15:45)

- ・潰瘍性大腸炎患者におけるデキサメサゾン含有ポリ乳酸マイクロカプセルの有効性に関する研究 (分担研究者：岡崎和一)

○岡崎和一、松下光伸、川股聖二、渡辺敏彦、斎藤一文字、西尾彰功、仲瀬裕志、
千葉 勉、乾 賢一、田畑泰彦
(関西医科大学第3内科、関西医科大学薬学部、京都大学消化器内科、京都大学薬学部、
京都大学再生医学研究所)

(5) 新しいコンセプトによる治療法開発 (15:45~16:20)

- ・好中球エラストラーゼ阻害剤によるマウスDSS腸炎治療効果の検討
(分担研究者：日比紀文)

○諸星雄一、松岡克善、久松理一、岡本 晋、高石官均、井上 詠、日比紀文
(慶應義塾大学消化器内科、慶應義塾大学病院包括先進医療センター)

- ・炎症性腸疾患における薬剤抵抗性の克服

○有村佳昭、後藤 啓、小林敏和、岡原 聡、中原生哉、今井浩三 (札幌医科大学第1内科)

事務局連絡

閉会の挨拶

平成16年度第1回総会出席者名簿

平成16年7月30日(金)

参加者64名(敬称略)

班 長
分担研究者

渡辺 守(東京医科歯科大学消化器内科)
浅香正博(北海道大学医学部第3内科)
坪内博仁(宮崎大学医学部第2内科)
高後 裕(旭川医科大学第3内科)
岡崎和一(関西医科大学第3内科)
石川博通(慶應義塾大学微生物学・免疫学)
中村和彦(九州大学大学院病態制御内科)

参加協力者

鈴木健司(新潟大学消化器内科)
井上 詠、松岡克善、諸星雄一(慶應義塾大学消化器内科)
武田宏司(北海道大学医学部第3内科)
井戸章雄、沼田政嗣(京都大学医学部附属病院探索医療センター)
安倍弘生、宇都浩文(宮崎大学医学部第2内科)
綾部時芳(旭川医科大学第3内科)
千葉 勉、西尾彰功(京都大学消化器内科)
松下光伸(関西医科大学第3内科)
高橋 誠(九州大学大学院病態制御内科)
伊藤壽記、水島桓和、玉川浩司、根津理一郎、松田 宙(大阪大学大学院臓器制御外科)
有村佳昭(札幌医科大学第1内科)
岡本哲郎(札幌医科大学第4内科)
矢花 崇、本谷 聡(札幌厚生病院消化器科)
渡邊聡明(東京大学腫瘍外科)
亀岡信悟(東京女子医科大学外科)
飯塚文瑛(東京女子医科大学消化器内科)
三浦総一郎(防衛医科大学校第2内科)
大塚和朗(昭和大学横浜市北部病院消化器センター)
五十嵐正広(北里大学内科)
杉村一仁(新潟大学医学部第3内科)
中野 浩(藤田保健衛生大学内科)
伊藤裕章(大阪大学消化器内科)
渡辺憲治(大阪市立大学医学部第3内科)
高木智久、内藤裕二(京都府立医科大学消化器内科)
樋田信幸、福永 健(兵庫医科大学下部消化管科)
松本啓志(川崎医科大学内科)
伊藤浩史(宮崎大学第2病理)
光山慶一(久留米大学第2内科)
牧山和也(長崎大学光学医療診療部)
柴田 博、角 隆行(旭メディカル)
岡本正人(田辺製薬)
菅原慎一郎、藤井克典、丸田展久(日清キョーリン製薬)
細井英治、槌屋紘典(日本抗体研究所)
岡本泰子(藤澤薬品)
金井隆典、岡本隆一(東京医科歯科大学消化器内科)
山崎元美、谷本佳奈美、児玉 瞳、藤井 玲、伊藤裕子(東京医科歯科大学消化器内科)

事 務 局

厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究」
平成 16 年度第 2 回総会プログラム

(敬称略)

開会 (9:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 班長：渡辺 守

II. 研究報告

◎ 上皮細胞の再生・修復のための分子療法の確立 (9:10~10:05)

1) 組み換え型ヒト HGF の臨床応用における問題点 (分担研究者：坪内博仁)

坪内博仁、○井戸章雄、沼田政嗣、宇都浩文 (宮崎大第二内科)

2) 炎症性腸疾患に対する HGF 遺伝子治療法開発の検討 (分担研究者：鈴木健司)

○鈴木健司、河内裕介、朝倉 均、青柳 豊 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)

3) 腸上皮の自然免疫機構を標的とする炎症性腸疾患治療法開発 (分担研究者：高後 裕)

○綾部時芳、蘆田知史、伊藤貴博、田邊裕貴、前本篤男、高後 裕 (旭川医科大学第三内科)

4) 腸管上皮の分化制御による上皮再生治療の可能性 (分担研究者：渡辺 守)

○岡本隆一、松本智子、川村央信、大島 茂、土屋輝一郎、中村哲也、金井隆典、渡辺 守
(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

◎ 腸管特異的免疫調節を応用した治療法の開発 (10:05~10:45)

5) MIF (macrophage migration inhibitory factor) の制御による炎症性腸疾患の
新しい治療法の開発 (分担研究者：浅香正博)

○武田宏司、大川原辰也、浅香正博 (北海道大学大学院消化器内科学)

6) TCR α 欠損マウス IBD 発症における $\gamma\delta$ T 細胞の役割 (分担研究者：石川博通)

○石川博通 (慶應義塾大学微生物学・免疫学)

7) 自然免疫系による慢性炎症性腸疾患の制御機構 (分担研究者：竹田 潔)

○竹田 潔 (九州大学生体防御医学研究所発生工学分野)

◎ 選択的細胞除去・移入療法の開発 (10:45~11:15)

8) 制御性T細胞保存を目的とした選択的血球成分除去療法の開発：これまでの成果と今後の展望に関して (分担研究者：中村和彦)

○中村和彦、高橋 誠、本田邦臣、水谷孝弘、吉永繁高、松井謙明、秋穂裕唯、名和田 新
(九州大学大学院医学研究院病態制御内科)

9) 細胞治療としての炎症性腸疾患における免疫抑制性T細胞移入療法 ー第2報ー
(分担研究者：渡辺 守)

○金井隆典、河村貴広、蒔田 新、浦牛原幸治、戸塚輝治、渡辺 守
(東京医科歯科大学大学院消化器病態学)

◎ 分子デリバリーシステムを用いた治療法確立 (11:15~11:30)

10) 潰瘍性大腸炎患者におけるデキサメサゾン含有ポリ乳酸マイクロカプセルの有効性に関する研究 (分担研究者：岡崎和一)

○岡崎和一¹⁾、松下光伸¹⁾、川股聖二¹⁾、渡辺敏彦¹⁾、斎藤一文字²⁾、西尾彰功³⁾、
仲瀬裕志³⁾、千葉 勉³⁾、田畑泰彦⁴⁾ (¹⁾ 関西医科大学内科学第三講座、²⁾ 関西医科大学薬剤部、
³⁾ 京都大学消化器内科、⁴⁾ 京都大学再生医科学研究所)

◎ 新しいコンセプトによる治療法開発 (11:30~11:45)

11) rebamipide 注腸による潰瘍性大腸炎に対する新規治療法 (分担研究者：日比紀文)

○井上 詠、泉谷幹子、諸星雄一、桜庭 篤、松岡克善、久松理一、岡本 晋、緒方晴彦、
岩男 泰、日比紀文 (慶應義塾大学消化器内科、慶應義塾大学病院包括先進医療センター)

事務局連絡

閉会の挨拶

平成16年度第2回総会出席者名簿

平成17年1月26日(水)

参加者64名(敬称略)

班長	渡辺 守 (東京医科歯科大学消化器内科)
分担研究者	日比紀文 (慶應義塾大学消化器内科)
	坪内博仁 (宮崎大学医学部第2内科)
	高後 裕 (旭川医科大学第3内科)
	岡崎和一 (関西医科大学第3内科)
	石川博通 (慶應義塾大学微生物学・免疫学)
	中村和彦 (九州大学大学院病態制御内科)
	鈴木健司 (新潟大学消化器内科)
	竹田 潔 (九州大学生体防御医学研究所発生工学分野)
参加協力者	井上 詠、高石官均 (慶應義塾大学消化器内科)
	武田宏司 (北海道大学医学部第3内科)
	井戸章雄 (京都大学医学部附属病院探索医療センター)
	沼田政嗣 (宮崎大学医学部第2内科)
	綾部時芳 (旭川医科大学第3内科)
	松下光伸 (関西医科大学第3内科)
	河内裕介 (新潟大学消化器内科)
	岡本哲郎 (札幌医科大学第4内科)
	鮫島伸一 (群馬県立がんセンター外科)
	上野文昭 (大船中央病院内科)
	鈴木康夫 (東邦大学佐倉病院内科)
	土肥多恵子 (国立国際医療センター研究所)
	猿田雅之 (慈恵医科大消化器肝臓内科)
	味村俊樹 (帝京大学医学部外科)
	飯塚文瑛 (東京女子医科大学消化器内科)
	大塚和朗 (昭和大学横浜市北部病院消化器センター)
	高濱和也、長坂光夫 (藤田保健衛生大学消化器内科)
	伊藤裕章 (大阪大学消化器内科)
	樋田信幸、高川哲也 (兵庫医科大学下部消化管科)
	清水香代子、垂水研一、古賀英樹 (川崎医科大学消化器内科)
	光山慶一 (久留米大学第2内科)
	牧山和也 (長崎大学光学医療診療部)
	栗山敏治、柴田 博、金川章孝、有富正治 (旭化成メディカル)
	神田徳雄、佐藤信一、チュア エバン、石田美紀、植村真理、楠 敦、分部浩和、 上山直樹 (大塚製薬)
	岡本正人 (田辺製薬)
	菅原慎一郎、藤井克典、丸田展久 (日清キョーリン製薬)
	茅野司郎 (日本抗体研究所)
	岡安源浩、桜井伸也 (UCB ジャパン)
	金井隆典、戸塚輝治、岡本隆一、久保田大輔、蒔田 新 (東京医科歯科大学消化器内科)
事務局	山崎元美、児玉 瞳、藤井 玲、伊藤裕子 (東京医科歯科大学消化器内科)